

地域の助け合いが あなたを救う



写真：平成16年10月23日に発生した、新潟県中越大地震の被害
提供：新潟県小千谷地域消防本部

突然私たちを襲ってくる地震や台風などの自然災害。災害による被害を最小限に抑えるためには、国、県、市などの行政機関が連携し、防災対策を講じることが言うまでもありませんが、災害が起こったその時、一番早く行動ができるのは私たちです。災害時に正しい判断と正しい行動をするためには、私たち一人ひとりが日頃から災害に対する危機意識を持つておくことが重要です。災害はいつやってくるかわかりません。日頃から私たちができることを地域や家庭で話し合っておきましょう。

大規模災害から学ぶ 「自主防災組織」の必要性

六千人を超える死者と甚大な被害をもたらした「阪神・淡路大震災」は、大規模災害における公的な消防防災体制の機能の限界を示す災害でした。調査によればこの大震災により生き埋めや建物などに閉じ込められた人のうち、救助された約95%は自力または家族や隣人によって救助され、専門の救助隊に助けられたのはわずか7%でした。

このことから消防などの公的機関が、災害が起こった直後に多数の被災者に対し、迅速に対応することは非常に困難であり、人命救助や初期消火は近隣の住民の力に頼ることが多く、その結果、被害の軽減に大きな役割を果たすことがわかりました。

そこで、地震やその他の災害から命・財産・住居などを守るために、また、住民が自分たちの地域は自分たち

で守るといふ、自覚や連帯感に基づき自主的に結成する組織である「自主防災組織」結成の必要性が近年増大しています。

今も残る被害の傷跡

現在、甲賀市では様々な形の自主防災組織が結成されていますが、まだまだ未組織の地域が大半です。

幸い甲賀市では近年大きな災害に見舞われることがありませんでした。住民の皆さんは、甲賀市は災害のない安全なまちだといふふうにご考えておられるかも知れません。しかし、昨年の10月、新潟県中越地方が阪神・淡路大震災以来の震度7を記録する直下型地震に見舞われ多数の被害がでており、現在もなお被害の傷跡は多く残り復興への努力が続けられています。

私たちにできること

滋賀県は、地震の起こる可能性が高い琵琶湖西岸断層帯があり、また、今世紀前

木造住宅無料診断を受けられます

昭和56年5月以前に建てられた木造住宅を対象に、無料で耐震診断が受けられます。

この診断では専門の診断員を派遣し、目視による簡易な診断を行います。希望される方は都市計画課または各支所地域振興課までご相談ください。

【問い合わせ】

都市計画課 計画係
TEL 65-0719
FAX 63-4601

防災対策の推進に努めていますがそれだけでは災害による被害を減らすには十分とは言えません。住民の皆さんも誰かが何とかしてくれるのではなく、自分たちは何をして、何が出来るのかを考え、実行することが大切です。

3つの理念

災害の被害を最小限に抑えるために、次の3つが災害対応力を高め、また連携することが大切だと言われています。

自助：「自分の命は自分で守る」といつか自己責任

自分の目の前で災害が起こったとき、最も早く対応できるのは自分です。

共助：「自分たちのまちは自分たちで守る」という地域の助け合いの理念

災害が起こったときの救出活動も、早く始めるほど、また多くの人が参加するほど、被害を小さく抑えられます。災害時に円滑に協力するために、普段からの地域での交流が大きな力になります。

公助：市が皆さんと一体となって災害対策を行うという行政の果たす役割
市を始め、警察、消防といった行政機関が連携を取り、すべての能力を応急対策活

自助・共助・公助 被害を最小限に

自分を中心と考えると、災害の直後、自分を守るのは自助の力です。また自分ひとりでは対応できない状況になったときには共助の力が必要です。そして公助の力が復旧・復興へと向かいます。

市では災害に備え、食糧や生活用品などの資機材を備蓄していきます。

甲賀市防災備蓄資機材 (H17.10現在)

区分	資機材名	保有総数
避難生活用品	発電機	22
	投光器	36
	ハロゲン投光器	28
	投光器スタンド	36
	強力ライト（懐中電灯）	70
	コードリール	49
	ブルーシート	302
	真空パック式毛布	3220
	圧縮掛布団	100
	圧縮敷布団	100
カーペット	2370	
簡易トイレセット	4413	
簡易組立トイレ	17	
レギュラーガソリン缶詰	619	
混合ガソリン缶詰	164	
カセットガスコンロ	66	
カセットガスボンベ	300	
乾電池（単1形）	220	
乾電池（単3形）	100	
肌着セット	710	
Tシャツ	2000	
テント（5人用）	10	
給水	濾水機	12
	飲料水ポリ容器	408
	折りたたみ飲料水袋	2670
炊き出し	移動式炊飯器／発電機付	1
	炊き出し釜	2
	炊飯袋	2000
情報連絡用	ハンドマイク	59
	携帯ラジオ	143
救助救出救護用	エンジンチェーンソー	8
	エンジンカッター	6
	担架	62
	救急セット	15
	パール	99
	レスキューセット	29
保存食料	搬送車両（組立リヤカー）	7
	土のう袋	1350
	ウォーター土のう	100
	ヘルメット	80
	軍手	308
保存食料	アルファ米（五目・山菜）	11200
	アルファ米（おかゆ）	2750
	乾パン	3840
	粉ミルク	36
サバイバルフーズ	29	



子どもたちも消火活動に参加しました（葛木区）

消防本部からの説明を聞く皆さん（野田区）



あすま自主防災会の設立の様子

市内で自主防災組織が結成される

12月11日（日）あすま自主防災会（土山町南東区・北東区）と葛木区で自主防災組織の結成式の後、防災訓練等が行われ、また野田区では避難訓練後、スモーク体験等が行われました。

今後とも市内地域において自主防災の組織化、訓練等が積極的に行われることが期待されます。

【問い合わせ】

総務課 総合防災係
TEL 65-0665
FAX 63-4554